

アマダイ通信NO. 147

(Tile fish network letter)

2023年 酷暑でも百日紅

知人・友人各位

白神の豊かな海山で、思い切り自然と戯れ、健やかに育った少年🐡。駿台予備校中山寮で過ごした一夏を除けば、夏休みは朝から日没まで海に浸かって素潜り、サザエや天草、フノリ、モズクを手掴み、アワビをナサシで剥し、アイナメをヤスで追う。76歳の後期高齢者となっても元気に働き、週末はスキーや歩くゴルフを仲間と楽しみ、海辺や山道のサイクリングでリフレッシュ出来るのはそのお陰か。それでも歩いて若い女性に先を越され、階段を上る脚に疲れを感じる。平日でも歩数計で1万歩ほど歩くが、永遠ということはないと知る。出来ればその日まで、多少は人の役に立ち元気でいたい。共に！

◎東大には入ったけれど、お一人様の孤独死！

かつての学内のアルバイト団体、東大学力増進会（学増）の仲間、下手なサラリーマン以上の年収を食む三人の執行部、常任委員の一人だったIさんの訃報。学内に拠点を置き高校生を相手に通信添削や講習会などを行っていた東大文化指導会（文指）は東大全共闘のバリケードストライキで事業継続が困難となり解散。学外の正門前に事務所を置き、私立高校を会場に中学生相手に講習会や模擬試験を行っていた東大学力増進会（学増）は闘争後も生き延び、暫しの休息と次への糧を求める若者のオアシスとなった。

皆様、悲しいお知らせですが元常任、国語科のIさんが亡くなりました。昨年ひよんな事から肺癌が判明、抗癌剤治療を開始。転移もあって長い距離の歩行が難しい状態になり、毎週月木に介護ヘルパーが買い物支援等で訪問するようになりましたが、3食自炊するなど十分一人で日常生活を送れる状態でした。ところが5月18日に介護ヘルパーが定例訪問したところ応答がなく、鍵を預けてあったケアマネジャーと共に部屋に入りベットの上で亡くなっているIさんを発見。孤独死ですので警察を呼ぶ事態に。5月8日から13日の間新しい抗癌剤（治験薬）を投与する為に入院していた直後で、副作用も大いに疑われるところですが、ご遺族（弟様）の御意向もあり解剖等を行われず、本当の意味での死亡時刻や死因は不明。介護ヘルパーにより15日には元気だった事が確認され、死亡診断書には「17日頃病死」と記載。学増仲間としてはNさんと私が不定期でIさん宅訪問を続け、14日にもNさんが訪問して元気なIさんと対面したばかり。今でもIさんの突然の死が信じられない気持ちです。ご本人の生前の言葉、ご遺族の御意向もあって葬儀や告別式は行われませんが、下記の要領でご遺族の方々中心の小さなお別れ会があります。

（数学科 Si）

Siさん🐡です。連絡ありがとうございます。小生もステージ3bの大腸がん（殆ど治癒する見込みなし、岩波新書「胃がんと大腸がん」）の術後4半世紀近くたちますが、主治医からは年取るとがんも急には進行しないので、もう検査しなくてもいいんじゃない？と言われてます。下手に手術したり、抗がん剤を飲んだりすると逆効果の場合もあるようです。年取ったらがんと一緒に生き、がんと共に死ぬ、ということもありかと思えます。Iさんは長期間発見されず、原形をとどめなかったSaさんと違って、発見が早く幸いでした。妻が老々介護の末、有料老人ホームに入ってから独居老人で至って元気、この冬

も目標未達ですが 18 回越後湯沢界限でスキー、これからは週末房総の海辺と越後の山道をサイクリング、仲間と隔週ゴルフでピンピンこりり出来るか？ぴんぴんこりりでも発見が遅れると周りに迷惑をかけるので、近くに住む娘とそろそろ連絡を密にする必要があると思いました。告別式には、年金もゼロに近く老後レスで仕事があり参加できませんが、コロナで中止になっている学増の同窓会を兼ねて I さんを忍ぶ会をやりませんか？

I さん、ご冥福を。I さんは酒豪で、さらに肺がんになりました。しかし命を落とされたのは、司法解剖されてないようですが独居老人の場合、たいてい心筋梗塞からではないかと勝手に思っています。独居老人は非常に栄養状態が悪くなり、死因に繋がります。

●さんも栄養士の奥さんが遠くなっていますから気をつけてくださいね。(Su)

Su さん、皆さん、I さんの孤独死は残念ですが、心筋梗塞だったとすれば、多少救われたかと思えます。三楽病院の主治医の阿川名誉院長（東大の後輩）と話したことがあります。日本人の死因の多くを占めるがんと脳梗塞、心筋梗塞だと、脳梗塞は後遺症で苦勞する可能性が高く、がんは最後モルヒネを使っても痛みが酷い。心筋梗塞はオールオアナッシングで、死ぬ時は一発、心筋梗塞がいいね！となりました。心筋梗塞で救急搬送され蘇生、元気に生きている同世代の仲間が、前職の高橋カーテンウォールに二人います。脳梗塞と違うところです。名門松山の愛光学園から東大なので、●と違って、それなりの受験勉強をし、多少の苦勞もして人も羨む東大に入った筈。生涯お一人様で、孤独死。死後のことは知ったことか！とも言えるが、人知れず死んで、長い間発見されず、浴槽の中で液状で発見されるような惨状は想像したくない。妻子もありながら諸国放浪の末、死後数か月後に野垂れ死に状態で発見された寮の同期も。誰もが等しく一度は死ぬ。お一人様になり、孤独死のリスクがある現代社会でどんな最期を迎えるか？死に様は生き様でもあります。

◎買い替え失敗、元革命青年、図らずも大家に！

狭過ぎて荷解きする気にもならず一年住んだ、晴海レジデンス 503 号室の借受け人がきまる。勝どき駅公称徒歩 10 分、築 13 年、20 階建タワマンの 5 階 57 平米余の 1LDK、賃料月額 18 万円、管理費 2 万円の計 20 万円。若いカップルが住むことに。老後対策の第 1 弾、日生の終身年金保険、75 歳から 10 年間保険料を掛ければ、85 歳から死ぬまで毎年 110 万円ほど年金を貰える契約。85 歳まで生きるか？心許ないが、いつ最期の日がくるかわからない。長生きリスクにも備える必要。初年度分百万円余を昨年支払い、1 千万円余を今年一括前払いの予定が、年払いでいいという。1 千万円ほど手元の老後資金を厚く出来るので、売らなくとも巷間 2 千万円とも言われる「老後資金」に不足はなくなり、逆に賃料で年払いしてもおつりが来て「年金」が増える。昨年 4800 万円で買った部屋を強気の 5780 万円で一度は売り出すが、売らないことに。売ってキャッシュに変え「老後」に取り崩して生活するよりも、賃料で保険料を払ってお釣りが来れば年金代わりになる。終身年金保険の払込みが終われば、いつまで生きるか分からないが、85 歳以降終身年金を毎月 10 万円弱頂いた上で、経費分を除いた賃料が死ぬまで毎月入り年金の足しになる。老後対策の第 2 弾。終身年金月 10 万円、税・経費を除いたマンションの賃料 15 万円ほどに公的年金 7 万円を足すと、取り敢えず毎月 30 万円ほど老後の生活費を確保できる計算。

40 才でサラリーマンを始め、老後の年金の少なさが課題だったが老後レスで 76 才まで

働き、並みのサラリーマンほどの老後の備えによりやく目途がつく。満足出来る年金も老後の資金にも不足する同世代の仲間が少なからずいることを思えば、年金と老後資金の不足を個人的に解決して良しとすることには忸怩としたものがある。だが野垂れ死にする訳にも行かない。上を見ればキリがない、下を見れば底なしだ。元気に活動出来る期間が長くなれば、「老後」は短くなり、経済的自由は増す。健康とネットワークを維持、人生を楽しみ、長く人の役に立ち、対価も頂けると嬉しい。

出来るだけ自前でやり、「賃貸業」の勉強もしてみよう。今年こそは不動産屋に成り上がろう！売買や賃貸を仲介して頂いた住友不動産には募集や明け渡しなどの契約関係だけをお願いするシンプル契約。能代高校同期の住友不動産小野寺会長のお友達特典で、諸手数料は半額。友人の助けも借り、プチブル意識丸出しで、元革命青年が大家に。

◎歯ブラシを持った猿！？春スキーを楽しむも 18 回で終わる

2 度ほど滑ったガーラ湯沢も雪が少なくなり、5 月の連休初日の 29 日（土）、シーズン 17 回目のスキーは 1 年振り奥只見丸山に。7 時 42 分東京駅発、9 時 5 分湯沢着の新幹線に。10 時から清掃のマンションの温泉に間に合い先ず温泉に。かつて湯之谷から 24 キロのシルバーラインの、長いトンネルで居眠り運転、岩肌にこすり、孫娘共々無事も、オープンカーの愛車プジョー 307cc をオシャカにした。24 キロも続くトンネル道に、眠くなっても自販機はない。湯沢駅脇のそば屋で美味しい天ざるに舌鼓を打ち、駅前のスーパー野口本店で缶コーヒーを 5 本も買う。小出まで高速を走り、缶コーヒーを 2 本飲み、1 時間半もかからずに奥只見のダムサイト着。昼で帰る客もいて、リフトのそばに駐車、午後券を 3 千円で買い、リフトを 3 本乗り継ぎ、360 度の大パノラマ、奥只見丸山山頂へ。

山頂の山小屋でハンバーグカレーとビールショット缶を 1300 円でゲット、遠く尾瀬の燧岳を見晴かす。眼下に広がる電源開発の奥只見ダムが只見川をせき止めて出来た銀山湖が、陽光に煌めく。プラスチックの椅子に身を沈め、絶景も摘みにビールを飲む。何という解放感、えもいわれぬ至福の時。親子連れやカップルも楽しそう。午睡を貪る者も。

シーズンも終わり近く湿ったザラメ雪は重く、スキーのコントロールに苦勞する。急な斜面は深くえぐられギャップが続く。ギャップを避け狭い両脇の滑り易い斜面を探し、クネクネ苦勞しながら降りる。時に強いられ、時に敢えてコースを外れ樹間をツヅラ折れ。スキーが深く沈む新雪ではこうはいかないが、湿って締まった残雪の上なら大丈夫。木の枝に引っかかりそうになったり、断崖に出会したり、道なき路を行くが如きは己が人生に似て楽しい。昨年はブナの実の殻とその脂がスキーの滑走面にべったり貼りつき、途中リタイアした奥只見での 19 回目のラストラン、今年は大丈夫。4 時半のリフト終了までたっぷり楽しむ。

湯沢インターを出た所で、馴染みの料理屋保よしを予約。マンションに車を留めるのもそこそこ、保よしに歩く。山菜尽くし定食で生ビール二杯、鶴齢純米一合、コタツでコテン。起きたら 12 時過ぎ、温泉の入浴時間は過ぎ残念。歯磨きすると真っ赤な猿顔で反省。雪面からも跳ね返る雪焼けは強烈。翌朝の天気は雨。9 時過ぎの新幹線で帰京。あと何回滑れるか？人生百年時代、年寄りも体を鍛えよう！と気張るが、5 月 3 日再度奥只見丸山で春スキーを楽しんだだけでその後天候に恵まれず、湯沢駅前にマンションをゲットした割には昨年より 1 回少ない 18 回でシーズン終了。駅前のマンションを活用、スキー

をフルに楽しむには 11 月のシーズン初めから神楽や奥只見丸山の素敵な処女雪を楽しもうと思う。

◎山彦は山が、海彦は海がいいと言い

休日の 2 月下旬の木曜日、8 回目（年末年始の娘家族との岩原を含めシーズン 12 回目）の湯沢高原新幹線日帰り手ブラスキーを、久し振り一人で楽しむ。この 2 週間 8 時 52 分東京駅発、10 時 21 分越後湯沢着ときは混みすぎで、座れないといけないと気合いを入れて家を早く出ると、8 時 32 分発、9 時 42 分着谷川に間に合い席を確保。自由席は上野から座れない人も。11 時に保よしに行くと、仕込みが間に合わず 11 時半開店だという。駅向かいの福寿庵に戻り天ざると瓶ビールのお昼。湯沢の蕎麦はどこも大体美味しいが、生ビールが欲しい。12 時のゴンドラに乗ろうと急ぐが長蛇の列。積み残されるが、すぐ次のゴンドラが来て、神楽と違い 20 分は待つ必要なし、初体験。積雪 240 センチと前週末より 20 センチ増え、サラサラとはいかないが、雪質はまずまず。標高 1170m の大峰山頂から、標高差 800m、最大斜度 28 度、全長 5 キロのダウンヒルも 4 回、脇の上級コースもいつもの様に楽しみ、マンションの温泉に浸かり 6 時過ぎに保よしへ。ギンダラ西京焼き御膳で生ビール 2 杯と鶴冷純米 1 合を手酌酒。

同じ週の土曜日、久し振り鴨川の江見に。館山のカインズの園芸品売り場で道草、鴨川市街の東端、亀田病院のヘリポートまでは辿り着けず、太海の川のところから、街道に上がって戻る。湯沢駅前に中古マンションを買ったので、「老後の住処」は便利な湯沢のマンションと決め、江見のマンションは売ろう、代わりに軽トラ四駆のキャンピングカーをゲット、自転車にくくりつけ、景勝の地を自転車で駆け巡ろう！と思うが、冷たい潮風に吹かれ、潮騒を友に海と山、空が醸す絶景を愛で、自転車を走らせると、房総の自然も又捨て難い。山彦は山が、海彦は海がいいと言う。海で素潜り、山のスキーで育てられた海山彦は生涯海と山の両方を友として生きたい。海も山も我が物として楽しみたい。

夜はマンションの理事会で知り合ったソニー 0B、12 階に住む悠々自適の小野さんと居酒屋桜で一献。松本の市街で育った彼は江見駅脇、高台に立つマンションの、青い空、白い雲の下、群青の太平洋の大海原を見遙るかし、東に鴨川、西に千倉の、白い小波が押し寄せ、黒い海獣が波乗りに興じる岬が紫に煙るオーシャンビューに魅せられ、ここを終の住処と即決したと言う。日本アルプスの名峰を友とした山彦ではなかったか？定年できっぱりと仕事は止め東京から移住、地域の仲間と卓球や麻雀に興じ、仲良しになった漁師から魚を頂き、百姓からは野菜を渡されなどして料理も楽しむ。近くの温泉巡りも楽しく、毎日充実しているという。「生涯現役！」の誰かは日曜朝も千倉の港まで 18 キロ自転車を走らせ、夕方本郷の事務所で全共闘 50 周年の例会、夏のイベントの打ち合わせ。終わって居酒屋加賀屋で懇親会。翌日は出張、新幹線こまちで忙しく故郷秋田に向かう。

◎パーキンソンの症状悪化、済生会中央病院で検査、施設は人手不足！

脊椎の圧迫骨折で入退院を繰り返した妻だが、手術のお陰か骨折で大騒ぎすることは取り敢えずなくなるも、パーキンソン病かレミー小体型認知症か不明のまま、手の震えや手足の痺れが酷くなる。有料老人ホームの人手不足で食事の介助や車椅子での歩行補助を十分に提供できないと妻は訴える。施設から人手不足で妻の病院での検査への同行依頼も。

再来年には団塊の世代が全員後期高齢者になり利用者が急増、介護保険制度が破綻するのでは？と「介護の25年問題」が心配されているが、23年にして既に顕在化している。

●様、お疲れ様です。返事が遅くなり申し訳ございません。早苗様の受診日程ですが、検査開始がAM9:00～なので、サニーライフ芝浦をAM8:30に出発予定です。また、早苗様より（港区三田の済生会中央）病院まで同乗して欲しいとのことで恐れ入りますが、AM8:20までに、こちらへご来館頂けるでしょうか。ご来館が時間的に困難であれば、AM9:00までに済生会中央病院の正面玄関付近にてお待ちしておりますようお願い致します。昼食も持参は出来ませんので病院内の喫茶店等でお召し上がりください。1日掛かりで長丁場の受診ですが宜しくお願い致します。

●です、お世話になります。施設から一緒すると車で施設まで往復する必要があるのので、病院に直行します。今度の検査は手の震えが激しくなったの検査ということでしょうか？MRIかCTの、あるいはその両方でしょうか？検査の結果を聞くまで残るのかと思いますが、施設の方も一緒でしょうか？一緒でないとして施設からの迎えは何時頃でしょうか？

明日AM9:00少し前に正面玄関付近で待ち合わせ願います。今回の受診の趣旨は、パーキンソン病の症状悪化です。体の震え（振戦と言います）と幻聴がひどくなっているためです。MRIかCTと思われますが、その他にもあると思われます。当日の職員の付き添いは、介護車で送迎だけになります。検査の結果は8/23の予定です。その日は結果だけですので、普段通り2～3時間程度だと思しますので、職員が付き添います。ご本人様も専門病院での治療を望んでおられますので、転院の話になるかと思えます。出来ましたらご一緒頂き、先生からの提案にすぐご決断頂けると話しがスムーズに進み助かります。お迎えにつきましては、会計がお済みになりましたらご連絡ください。介護車にてお迎えに上がります。

人手不足ということですが、団塊の世代が全員後期高齢者になり介護保険の利用者が急増、介護保険制度が破綻するのでは？と「介護の25年問題」が心配されています。施設には人手不足で220人の定員の半分しか入所出来ず、妻も食事や車椅子歩行の介助をよくして貰えないと嘆いています。25年問題は既に顕在化しているようです。先月厚労省老健局の担当課長と世田谷区長などを招き、「介護の25年問題」のシンポジウムを開き、来月は上野千鶴子先生も交え名古屋で大規模な集いを開催します。ここでも小生が基調報告します。ユーザーの一人として勉強させて頂ければと思います。

◎介護の25年問題と酷暑のゴルフ

7月16日（日）、小川カントリーまで高速道を突っ走る。出遅れたが、10時4分のスタートには2時間以上ある、大丈夫。右折禁止の8時前に晴海通りを東銀座で右折、首都高にのる。関越道が大泉から東松山まで30キロ渋滞、東北道から圏央道経由の迂回路に切り替える。加須から浦和までも5キロの事故渋滞というがどうにかなるだろう。圏央道川島インター近く、鶴ヶ島と東松山間はまだ事故渋滞。ナビに従い鶴ヶ島の一つ手前川島で降り下路を走るが、渋滞気味。ゴルフ場に遅れるかもと連絡。①組と②組を入れ替えて貰うがどうにか間に合う。ロングヒットを左右に飛ばすと思えば、チョロル15年大学院入寮、初心者野村証券の北條君を90台で回った同期の山川医師がコーチ、120と急進歩。

☛はパー取るも110。カンカン照りの下、物好きだなーと笑いながら、炎天下でゴルフ出来る気力と体力を互いに寿ぐ。

団塊世代が全員後期高齢者になり、要介護者は膨らむのに介護者が不足する「介護の25年問題」。9月17日（月・休）の午後、NPO 地域共生を支える医療介護市民全国ネットワーク第2回全国の集い in 名古屋、東京プレ大会「日本の介護は大丈夫か？」を八重洲駅前のTKPの会議室で開催。19年の安田講堂での全共闘50周年記念集会の延長。去年の平塚での初回に続き、盛況。厚労省老健局和田認知症施策・地域介護推進課長の1時間の基調講演「地域共生と25年問題～政府の取り組みと課題」の後の質疑応答、2部の「地域から25年問題にどう取り組むべきか？」は保坂世田谷区長他「アクション介護と地域」の地方議員のシンポジウム。第3部では98才の母親を自宅で介護するジャーナリストの二木啓祐さんと生活介護サービス会社社長の山岸大輔社長と「介護利用者と介護現場から25年問題を考える」クロストーク。盛り沢山のテーマをリアル参加者百人、オンライン参加者百人で4時間ほど議論、盛況の内に終了。☛もどうにか全体の司会進行の役目を果たす。5時から近くの居酒屋で30人で二次会、カラオケでの歌わない3次会にも10人ほど参加。遅くまで盛り上がる。

◎逝く人あれば、来る人もあり、これが人生！

長らく能代の施設に入所していた長兄正司の、能代での葬儀に参列出来なかったのが、所沢の墓苑での納骨式に参列。9人の姉兄がいても生まれた順に亡くなる訳ではない。3姉法子、次兄正佑、次姉和子と欠ける。☛がピッカピカの一年生になった時、兄は一年浪人し北大水産学部。☛はいずれ自分も大学に入るものと思う。好奇心旺盛な小学高学年の☛は、目の前に転がる兄の北大の教科書を拾い読み。地理の教科書が大好き。父の制止を無視、上京して駿台予備校に籍をおくが、兄は宅浪。勉学の傍ら田んぼの脇の原野を開墾、飼っていた乳牛の餌になる牧草を植えたり。大学卒業後水産会社に入り北洋で鮭鱒を、南氷洋で鯨を捕るが、結婚を機に学び直して外国航路の航海士の資格を取り、外航貨物船の航海士や船長として世界の海を巡る。ハッピーリタイア後能代で暮らし、ロシアツアーの帰途、エコノミー症候群で脳梗塞に。飛行機はシベリアに緊急着陸。一命は取り留めるが、車椅子での生活に。症状が悪化して近年は老人ホーム生活。

国立劇場で、三鷹クラブと東京銀杏会合同、幕の内弁当歌舞伎観賞会。演目は「日本振袖始」、ご存知八岐大蛇と素戔鳴尊の物語。大蛇が中村扇雀、素戔鳴尊が息子の中村虎之介。幕前に虎之介が「歌舞伎のみかた」を解説。留学生や一年生中心、歌舞伎は初めてと皆楽しそう。幕がはねてから幕の内弁当?! 欠席者の弁当も学生に食べて貰い、次の幕の内弁当の時間が来るまで、交流を楽しむ。43年入学、理Ⅲから医学科進学、現役のお医者さん、ML派の仲間の上田君が同窓の奥さんと参加。55年振りの再会。院長先生をしていて診療活動も、論文も発表しているよう。板橋に住み、奥方に小川カントリーでのゴルフを勧められ、涼しくなれば参加するという。逝く人があれば来る人あり。

◎共富論、国進民退、独裁強化、習近平体制の中国で暮らす

中国は北京で長らく教職につく友人が、地方公務員の奥さんと1歳の長男と一緒に帰国するという。テレビで伝えられるコロナ禍の北京での生活は何やら戦前の治安維持法下の

日本を思わせるよう。「反スパイ法」では外国での言動も帰国後に問われるので、気を遣わないといけない。まして、学校で「習思想」を学んだ我が子に「お父さんは何で習思想万歳！と言わないの？」と問い詰められたりしたら最悪だ。頑張っって一家で日本の少子高齢化対策に貢献してくれると嬉しい！急遽帰国歓迎会を開催することに。

●さん、こんにちは。温かいお手紙をありがとうございます。現在妻がビザの申請をしており、ビザが下りるのを待っています。私と息子は日本のパスポートを持っているので、チケットを買えばいつでも帰れますが、国籍の違う妻は大変です。妻の日本に滞在できる期間は2週間になると思います。私のためにこのような会を計画して下さることに感動し、恐縮しております。最近のこちらの状況は、やはり直接会ったときに色々お話しさせて頂きたいと思います。寮生たちが集まる中で、中国にマイナスの評価を伴う発言は一切できないことをご承知おきください。下手な発言をしたら、帰ってから塀の向こう側に行ってしまう恐れがあります。早く日本に永久帰国して自由に話せるようになりたいものです。書籍の出版なども最近特に規制が厳しくなり、例えば「お金を持っている」と贅沢ができる。お金がないと苦しい生活を送ることになる。しかしお金が全てでは無い。」このような文章があれば、お金を持っている」と贅沢ができるという部分が不適切なので、ダメ。お金を持っていないと生活が苦しいと言うところも不適切なのでだめ。こういった具合に規制が入るので、出版が非常に難しく、色々言われて修正作業が大変のようです。

●です、取り敢えず我が「方丈の庵」での「帰国報告会」は23日(日)6時からにします。真夏のキリタン鍋やハタハタ鮓、ピザやらを用意しましょう。「ワンオペ保育」どうか乗り切りましたね！休み明けは又大変かと思いますが、おめでとう。保育園は3歳から、当てにしていたお袋さんにビザが下りず、家事手伝いも見つからずの大ピンチ、どうかお手伝いを見つけられたようですね！


●さん、私のほうはやっと学期を終え、試験も終わり、今採点をしているところです。最近、VPNにもなかなかつながらず、メールもよく見れない状態で、自由な環境がうらやましいです。今学期は、息子の世話ワンオペでしていたため、かなりハードでした。体重も高校以来最低の体重になりました。70後半あったのが、60後半にまでなってきました。昼間は子供の寝ている時間だけが自由時間ですが、寝ている間にも起きたら食べさせる離乳食を作ったり、洗濯や掃除をしたりと子育てがこんなに大変だとは身をもって実感しています。日本にやっと数年ぶりに帰れることになりそうです。

◎第17回 味は文化です！津田君一時帰国歓迎編 (2023.07.23)


参加者はIslam Md Hadiul、佐藤丈尚(2020・理I 工・電気電子工学科・札幌南)、村松泰知、Dhruv Iyer、柴田卓巳、横字史年(2015・文III・岡崎)、津田量(1999・文III 大学院人文社会系研究科・甲陵)、豊澤佳弘(1975・文I法・高松)、中村英(1967・文III 教養学科ロシアの社会と文化・広島大学附属)、●、安藤誠四郎(1962・理I 工・機械・修猷館)。宮内雄史(特別参加、1966 入学・中国語クラス同期・教養学部教養学科・湘南)。

◎第15回 味は文化です！番屋編 (2023.05.27)


参加者は大内颯人(2023・文I・甲陽学院)、尾崎一義(2023・文II・枚方)、黒田愛(2023・理II・西大和学園)、佐藤和成(2023・理II・甲陽学院)、田仲佑将(2023・文

II・大分上野丘)、西垣朔太郎(2023・理I・近畿大学附属豊岡)、薄鋒(2023・中文M1・大連外国語大学)、森下勇希(2022・理I・藤枝東)、王育涵(2022・法学政治学研究科総合法政専攻・武漢大学 外国語学部)、伊神勇希(2021・理I 工・電子情報工学科・東海)、齋藤優季(2021・理I 医・健康総合科学科・東海)、韓浜澤(2020・文III 法・第1類法律総合コース・東北育才学校)、桑原秀彰(2020・文I 法・札幌南)、村松泰知(2020・文III 文・哲学科・甲府南)、柴田卓巳(2016・文III 教養・学際科学科地理・空間コース 大学院総合文化研究科(人文地理学分野)・東葛飾)、 (1966・文I 法学部・能代)、辰紘(1965・文I 教養・教養学科国際関係論・三国丘)。


◎第16回味は文化です! まんなか屋編(2023.06.30)

参加者は尾崎一義、薄鋒、森下勇希、王育涵、村松泰知、Dhruv Iyer(2019・理I 工・機械情報工学科・ムンバイ)、柴田卓巳、飯田徳松(1966・文III 農・農業経済学科・上野)、。


◎東大三鷹クラブ歌舞伎鑑賞会(2023.06.18)

参加者は田中悠飛(2023・洛北)、Islam Md Hadiul(2023・Department of Computational Biology and Medical Sciences・Bangladesh)、薄鋒、Alaa Kamaleldin Hussein Jad(2022・Graduate School of Frontier Science・Cairo University)、Emma Humberstone(2021・Durham University)、網敷悟至(2022・理II・清真学園)、武田練真(2022・理II・豊岡)、仲田響(2022・文II・柏陽)、森下勇希、李晉維(2022・理I・台南第一)、王育涵、石井大善(2020・後期教養学部統合自然科学科・岡山朝日)、村松泰知、旭博佑(2019・理I 工学部精密工学科・久留米大学附設)、西沢文孝(1995・文学部)、。その他の参加者で上田恵介、上田照子、志賀寿美子、吉田仁、吉田一江、水野達夫。

◎第21回三鷹寮生オンライン交流会(2023.07.02)

参加者は尾崎一義、薄鋒、王育涵、柴田卓巳、横字史年、高田夏輝(2015・文III 工学部建築学科・岡崎)、久米知之(1994・文I 法・大学院法学政治学研究科専修コース(公法専攻)・東大寺学園)、河合潤(1978・理I 工・工業化学科)、保川清(1978・理II 理・生物化学科 理学系研究科生物化学専攻・大教大附)、宇多村元昭(1967・理I 工・原子力工学科・防府)、、打林國雄(1965・理I 工・都市工学科・富山中部)。

◎新MSCとの顔合わせ・引継ぎパーティ(2023.07.31)

参加者は大内颯人、岳駿輔(2023・文II・福大大濠)、尾崎一義、高橋凌大(2023・理II・昭和学院秀英)、田仲佑将、藤條玉葉(2023・文II・鹿児島純心女子)、星乃直理(2022・理II・楠隼)、横字史年、飯田徳松、、辰紘。

◎孫のような若者と一喜一憂!・・・結びに代えて

新MSC(自治委員会)が成立するか気を揉んだが、1年生の尾崎君が委員長に手を挙げ、仲間も誘ってくれ、どうにか成立、胸を撫でる。折角の国際学生寮、男女混住寮での集団生活、楽しく有意義なものにして欲しい。そしてMSCの活動自体も楽しく、其々の成長の糧となるものであって欲しい。選ばれし者として切磋琢磨、社会有為の人材に成長、平和で自由、豊かで格差の少ない日本と世界の発展に貢献して欲しい。OBとしてそれを応援、そのプロセスも共に楽しみたい。再見!